アクティブラーニングに関するアンケート調査

1 ALについてご存じですか。	教員	率(%)
① 知っている	18	62%
② 知らなかったが、今回知った	8	28%
③ まだよくわからない	2	7%
④ 知る必要はないと考えている	0	0%
⑤ さらに知りたい	1	3%

2 以下のAL型授業に関して、実施(受講)したことがあるものにチェックして下さい。	教員	率(%)
① 演習	13	10.0%
② ゼミ	14	10.8%
③ 実験	13	10.0%
④ 実習	6	4.6%
⑤ フィールドワーク	2	1.5%
⑥ 動画を使った講義	10	7.7%
⑦ クリッカーを使った講義	8	6.2%
⑧ 質問・演習問題・見にレポートを多く取り入れた講義	7	5.4%
⑨ (デモ)実験を取り入れた講義	9	6.9%
⑩ グループ・ワーク	15	11.5%
⑪ グループ・ディスカッション	12	9.2%
⑫ ディベート	4	3.1%
⑬ PBLなどの課題発見解決学修	6	4.6%
⑩ ブレインストーミング	6	4.6%
⑤ 反転授業	1	0.8%
⑯ 学生同士のピア評価	4	3.1%
切 その他	0	0.0%

3 アクティブラーニングに取り組むための講習等を開催した場合	教員	率(%)
① ぜひ参加したい	8	28%
② 機会があったら参加したい	21	72%
③ 特に参加したくない	0	0%

4 アクティブラーニングに取り組むための講習等として、どのようなものを希望しますか	教員	率(%)
① アクティブラーニングのケーススタディを紹介するような勉強の機会	19	31.1%
② アクティブラーニングを実際に設計してみるために必要な手法やシラバス設計のための参加型ワークショップ	7	11.5%
③ アクティブラーニングに使えるツール(道具や手法の紹介)の提供	10	16.4%
④ アクティブラーニング授業の見学の機会	9	14.8%
⑤ アクティブラーニングを取り入れた授業設計を相談できる場所(機会・人)	7	11.5%
⑥ アクティブラーニングを取り入れた授業の際のアシスタント	9	14.8%

5 その他ご意見・お気づきの点などございましたらお教え下さい。

- ・アクティブラーニングは既存授業とは別にアクティブラーニングスキル思考を身につけることを+aで取り入れる意識が必要に感じました。(知識習得は既存授業・知識活用停車区はアクティブラーニング)
- ・アクティブラーニングが目的ではなく、効果的なアクティブラーニングによって、アクティブな人材を育成することが目的であることが確認できた。アクティブラーニングの成果を確認する方法の開発がされるとよい。学生や生徒の問題発見力を確認し評価できる教師の能力を鍛えないといけないようだ。多様な人材を多様に評価できる仕組みが必要か。
- 次回も開催希望!
- ALについて大学との共通点がかなりあると思いました。高校教員なのですが、是非これからも情報を頂ければと思います。
- ・特別な(名前の付いた)手法や「グループ」ではなく個々の志向がアクティブになっている授業・学習(授業外を含めて)が日常でありデフォルトなことで形になっていくことで「アクティブラーニングをやる」という状態からさらに一歩踏み出せるのではないかと考えます。大変勉強になりました。
- ・教員を目指す学生に対しても広く宣伝してほしい。内容も充実していて大変興味深かったので、次回があればぜひ参加したい。
- ・学生であっても教員がどのように考えて授業を設計して実践しているのか知ることが出来、興味深かった。